

52年ぶりの日本開催、世界アマから見えたもの



女子優勝=オーストラリア(2位=カナダ/3位=韓国)



男子優勝=アメリカ(2位=カナダ/3位=スペイン)

世界アマチュアゴルフチーム選手権が、軽井沢72ゴルフ東(入山押立コース)で行われ2週間にわたる熱戦の幕を閉じました。(開催期間)女子9月3日〜6日/男子9月10日〜13日。2年毎に開かれるアマチュアゴルフの祭典。日本での開催は実に52年ぶりであり、男子67、女子50の国と地域の選手たちが国の名誉を背負ってチーム戦に挑みました。

優勝は、男子はアメリカが15度目、女子はオーストラリアが逆転で、3度目の優勝を飾りました。日本は、男子が29位タイ、女子は8位タイでした。

男子キャプテンの堀田勝市氏は「これが今の日本の実力」と手厳しい。通算38アンダーパーで優勝したアメリカに対して「ワールドランキング100位以内が1人だけの

日本チームでは、太刀打ちできません」。

女子キャプテンの阪本知子さんは「日の丸を揚げる」とみんな頑張ったけれど、自国開催というところが逆に重圧となって普段の体の動きではなかったで残念です。これからもさらなるワールドワイドな体験を積みたい。でも最終2日間、強い国の胸を借りるラウンドとなり世界レベルが学べたと思うので、今後の糧にしたい」。

今大会前に発行されたJGAジャーナル誌によると、日本は第一回(1958年)から世界アマに参加、84年の香港大会で初優勝している。その時のキャプテンは中部銀次郎、選手は阪田哲男のほかに加藤彦、尾家清孝、木村恵明の3氏とくに阪田氏は11度も出場しており、その体験から世界アマについ



女子開会式



国歌斉唱

て次のように語っています。

「世界アマという大会は、確かに技量の面でも高いレベルを要求されますが、開会式、そしてパティーでも交流が必要で、そういう国際人のアマチュア代表という立ち振る舞いができないといけな

いわけです。ゴルフ後進国から参加する選手の中には大叩き選手もいました。でも、その優勝国から最下位までが世界アマなんです」

JGA Golf Journal Vol.95より
今年の日本アマを制して乗り込んだ中部の星・小木曾喬選手は、「素晴らしい経験をさせてもらいました。普通の日本の試合でも意識をしっかり持つて、もともと上を目指したい。次のメキシコ大会も出たいという思いを強くしました」。

小木曾選手自身も今度の経験をを通してアマチュアゴルフの上質な世界に居る喜びを知らされたことでしょう。



勝選手



小木曾選手



大会旗は次回のメキシコへ

中部から世界の舞台に羽ばたく

岡崎錬選手が2位と大健闘!!

(福井工大福井高1年)

日本ゴルフ協会から世界に派遣されるアマチュア競技は数多くありますが、18歳以下に出場資格が限られる競技に、この夏、岡崎錬選手(福井工大福井高1年)が3度の遠征を果たしました。

第11回ジュニアオープン(英国/7月14〜16日)、第2回ユースオリンピック(中国/8月19〜26日)、そして、第14回デュークオブヨークヤングチャンピオンズトロフィー(スコットランド/9月16〜18日)。

このうち、2度目のリンクスでのゴルフとなったデュークオブヨークで、岡崎選手は通算1アンダーパーで、堂々の2位入賞を達成。「濃霧という悪天候で、競技が2ラウンドになつてしまったのが残念でしたけど、ベストパフォーマンスができたと思う」と、これまでの海外経験の一つひとつがここにつながったと満足げに語りました。



女子学生ナンバーワンに、松田唯里選手



8月27〜29日の3日間、岐阜県のスプリングフィールドゴルフクラブで開催された第51回日本女子学生ゴルフ選手権競技。

初日69、第2日73、通算2アンダーパーの首位で最終日をスタートした松田選手は、ボギーが先行する苦しいゴルフ。一方、3打差の2位だった井上りこ選手(大手前大3年)は、パーキープで、後半の14番Hで通算4オーバーで並びました。決着がついたのは18番H(358Y、パー4)。松田選手はピン手前7メートル。井上選手はピン奥2メートル。松田選手が先に、2パットのパーとした後、井上選手はまさかの3パットのボギーとして、劇的な幕切れとなりました。

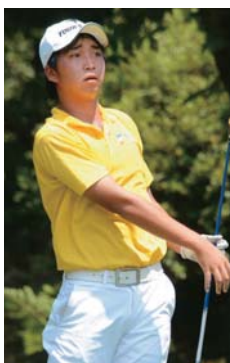
2005年の宅島美香(現プロ)以来、9年ぶりの中部勢の優勝。「ジュニアが力を発揮しているので、大学生も頑張っているんだと、良いスコアでかっこよく終わりたいかった。優勝はともうれしい」と最後はようやく笑顔になりました。

「日本」の競技で、中部勢が大活躍

白石大和選手(栄徳高3年)が日本ジュニア(15〜17歳の部)で2位

JOCジュニアオリンピックカップ大会第20回日本ジュニアゴルフ選手権競技男子15〜17歳の部は、8月20〜22日に埼玉県霞ヶ関カンツリー倶楽部・西コースで開催されました。

最終日、通算8アンダーの片岡尚之選手(札幌光星高2年)を追いかけて、通算7アンダーの小木曾喬選手(福井工大福井高3年)と通算4アンダーの白石大和選手(栄徳高3年)が同じ最終組で闘いました。白石選手はこの日、3アンダーとスコアを伸ばしましたが、片岡選手に追いつくことができず、2位入賞。小木曾選手は73と崩



小木曾選手



白石選手



高橋選手



横井選手

全国小学生女子の部で長谷川せら選手が2位

中部ゴルフ連盟主催の中部小学生ゴルフ大会の成績で、男子上位5人、女子上位4人が参加した第8回全国小学生ゴルフ大会は、8月15日に千葉県京葉カンツリー倶楽部で開催されました。この大会は、小学生らしい洗練としたプレーの中で、スコアだけでなく、エチケット・マナーを啓蒙する大会を目指しています。

正確なショットが要求される戦略性に富んだコースだが、中部勢の力量は素晴らしいものでした。

女子の部で、長谷川せら選手(稲羽西小6年)が72で首位と1打差の2位タイ。男子の部で、村上豊駿選手(宝小6年)と竹内優



村上選手



長谷川選手



湯原選手



竹内選手

年が74で9位タイに入りました。